いのち
生命のにぎわい調査団
いのち
# 生命のにぎわい通信
第３号：発行日　2008.12.17

発行：千葉県環境生活部自然保護課
生物多様性戦略推進室
生物多様性センター
〒260-0852 千葉市中央区青葉町 955-2
（千葉県立中央博物館内）
TEL 043-265-3601　FAX 043-265-3615
URL http://www.bdcchiba.jp/monitor/
E-mail monitor@bdcchiba.jp

## アカガエル類、アズマヒキガエル、トウキョウサンショウウオの卵

調査団の季節報告生物は両生類ではアカガエル類、アズマヒキガエル、トウキョウサンショウウオ、モリアオガエルの卵となっています。産卵時期はアカガエル類とトウキョウサンショウウオが１～４月、アズマヒキガエルが３～４月、モリアオガエルが５～７月となっています。モリアオガエルは少し時期があとになるのでここでは前の３種類のカエルの卵について説明することにします。

ニホンアカガエルとヤマアカガエルについては、ヤマアカガエルの生息する市原市高滝、長柄町の権現森以南の房総丘陵地帯でニホンアカガエルの生息域と重なり、卵による区別は難しいためアカガエル類としてまとめた形で考えます。

| 種 | 産卵時期 | 産卵数 | 産卵場所と特徴 |
|---|---|---|---|
| アカガエル類 | 1～4月 | 500～3000個 | 水のある田んぼや湿地。ゼリー状の膜に包まれた卵の卵塊。 |
| アズマヒキガエル | 3～4月 | 2500～8000個 | 生息域に近い止水。ゼリー質に包まれた長いひも状の卵のう。 |
| トウキョウサンショウウオ | 1～4月 | 15～150個 | 山間の水田の側溝や湧き水。半月状のゼリー質の卵のう。 |

### アカガエル類の卵

左の写真はニホンアカガエルの卵です。

ひとつひとつの黒い卵核がゼリー状の丸い卵のうに包まれ、卵塊を作って水中に沈んでいます。寒い時期に冬眠から目覚めて産卵した親ガエルは、産卵を終えるとふたたび冬眠に入ります。

アカガエル類は卵から変態までの期間が他のカエルより長いため、産卵場所にはより長期間水がある必要があります。

### アズマヒキガエルの卵

右の写真はアズマヒキガエルの卵です。アズマヒキガエルは繁殖時期になると生まれ育った水系に集まり、集団で産卵をします。このようにヒキガエルがいっぱい集まってくる様子を「かえる合戦」と呼ぶことがあるようです。想像する以上の距離を移動するといわれています。

皆さんの家の庭に、もしアズマヒキガエルがいたら、どこまで移動して産卵するのかも気になるところですね。

### トウキョウサンショウウオの卵

左の写真は産卵場所にあるトウキョウサンショウウオの卵です。卵のうは特徴的なバナナのような形をしていて、これが対になって水中の固定物に付着されています。中には通常 30 個程度の卵が入っています。

成体は 10 年以上生きるといわれていますが、穴の中や倒木の下などに住み、しかも夜行性のため、普段は殆ど発見することはできません。でも、この卵や水中で生活する幼生は観察することができるので、この卵のうや水中にいる幼生を見つけると、この種が無事なことが分かりホッとしますね。

左の写真はトウキョウサンショウウオの卵を観察のために水の中から取り出したところです。ゴカイやミミズなどの環形動物の仲間かと勘違いしてしまいそうです。

### ニホンアカガエル

千葉県 RDB: 最重要保護生物（Ａ）
体長：♂４～5cm　♀５～7cm
体色：赤茶色
分布：県内全域
生息場所：平地や丘陵

### ヤマアカガエル

千葉県 RDB: 要保護生物（Ｃ）
体長：♂４～6cm　♀４～8cm
体色：赤茶色
分布：市原市の高滝から長柄町の権現森以南の房総丘陵地帯
生息場所：ニホンアカガエルよりも森林内に生息

### アズマヒキガエル

千葉県 RDB: 要保護生物（Ｃ）
体長：♂４～16cm　♀６～16cm
体色：黒、茶、赤、黄など様々。体側に黒い帯
分布：県内全域
生息場所：低地から山の中まで幅広い。繁殖期以外は水に入らない

### トウキョウサンショウウオ

千葉県 RDB: 重要保護生物（Ｂ）
体長 :8～13cm
体色：黄褐色～黒褐色
分布：市原市北部と大網白里町を結ぶ線より南の全域および東金、八日市場、銚子に至る九十九里平野に面する台地に帯状に分布
生息場所：丘陵地帯の森林

## 報告トピックス

◎ラミーカミキリ

ムクゲの葉にいるラミーカミキリ

今年５月に団員が発見したものです。

薄いグリーンの体色に黒い斑紋、表面の質感はビロードと、とてもきれいなカミキリムシです。体長は１～2cm。

ラミーという名前は同じラミーというイラクサ科の植物名に由来します。この植物が江戸時代以降、中国から輸入されるようになり、いつの頃か不明ですが、その植物に付着して日本に輸入され、帰化したと考えられています。日本ではラミーの他、アオイ科のムクゲにもつきます。

もともと西日本が分布の中心でしたが、近年千葉県でも数が増え、生息域が拡大しているようです。捕まえようとすると、ぽろっと落ちて死んだふりをします。

# 生命（いのち）のにぎわい調査団

## 千葉県生物多様性センターからのお知らせ

生命のにぎわい調査団のフォーラムをセンター・博物館両主催で開催します。

### 「生命（いのち）のにぎわい調査フォーラム」

開催日時：平成２１年１月３１日（土）１３：００～１６：００
開催場所：千葉県立中央博物館　講堂（最大収容人数２００名）
事前登録：平成２１年１月３０日（金）１６：００まで
※調査団員および団員と一緒にフォーラムに参加される方は事前登録して下さい。当日は事前登録をされた方以外は団員以外の方を含めて先着順となります。登録はＥメール、電話、ＦＡＸ、郵便で受け付けます。団員ＩＤと参加人数をお知らせください。

研修内容：a. 千葉県の生物多様性について
b. 調査団の目的と平成２０年の報告の状況
c.「動物を探そう」
～足跡・糞から見分けるイタチ・タヌキ・アライグマ中型肉食哺乳類～
d. 意見交換会
※研修内容は変更の可能性があります。

### 「生命（いのち）のにぎわい調査団写真コンテスト」

開催日時：平成２１年１月３１日（土）１３：００～１６：００
開催場所：千葉県立中央博物館　講堂前に展示
応募期間：平成２０年１２月１９日（金）～平成２１年１月２３日（金）
（郵送の場合は平成２１年１月２２日（木）消印まで有効）
応募方法：応募はデジタルデータに限ります。作品は１人三点まで。ホームページの写真コンテスト応募フォームから送信するか、メディアに保存して生物多様性センター宛に郵送してください。
なお、応募作品の一部は博物館の生物多様性コーナーに展示したり、千葉県の出版物やホームページ等に利用させていただきます。
応募作品：対象は県内で撮影した生きものの写真なら全てＯＫ。
選出方法：フォーラム当日、フォーラム参加者の投票により、最優秀作品を選出します。最優秀作品には額をプレゼント。

## 千葉県立中央博物館からのお知らせ

１・２月の展示・行事　　問合せ：千葉県立中央博物館 TEL043-365-3111

**２０周年記念展示　「ブータンの自然と人々の暮らし」**
ヒマラヤの神秘
**〃　「中央博物館２０年の歩み」**
**２００９年１月１７日［土］～２月２２日［日］**

**開館２０周年記念シンポジウム　「自然系博物館のこれから！」**
先進的な取り組みをしている全国の自然史系博物館の館長が一堂に会し、生涯学習機能とシンクタンク機能についてパネルディスカッションを行い、これからの自然史系博物館のあり方について考えます。
**日時：2月6日［金］13：30～16：30 会場：講堂（当日200名先着、事前申込不要）**

### １月中の生きものに関する講座・観察会

| 開催日 | 時間 | 講座・観察会名 | 講師 | 申込締切 | 会場 | 対象・定員 | 費用等 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １/１１（日） | 10:00 -16:00 | カヤツリグサ科入門２（大人おすすめ講座） | 天野　誠 | 12/28 | 中央博物館研修室 | 高校生以上 20名 | 不　要 |
| １/１５（木） | 10:00 -12:00 | 冬の植物（生態園植物の観察会） | 大野　啓一 | 当日申込 | 中央博物館生態園 | 中学生以上 30名 | 不　要 |
| １/２４（土） | 13:00 -16:00 | 山の学校 58（冬の里の生きものを観察） | 江口　誠一 ほか | 当日申込 | 君津市（清和県民の森） | どなたでも（小学生以下保護者同伴） 40名 | 保険料 50円 |
| １/２５（日） | 10:00 -15:00 | コケ植物の顕微鏡観察（大人おすすめ講座） | 古木　達郎 | 1/11 | 中央博物館研修室 | 中学生以上 15名 | 不　要 |
| １/３１（土） | 10:00 -15:00 | 地層と地形のでき方実験（大人おすすめ講座） | 岡崎　浩子 | 1/17 | 中央博物館研修室 | 中学生以上 20名 | 不　要 |

## これからの季節報告１

◎白梅の花（開花）

例年千葉県では１月下旬から２月下旬にかけて開花するそうです。白い梅といっても園芸種としては種類がいろいろあるようですが、あまり気にせずに報告してください。
標本木で数輪咲いた時を開花とします。他の植物の季節報告同様、写真添付もしくは開花状況をメモしてお知らせください。

## これからの季節報告２

◎ウグイス（初鳴き）

撮影：坂元　理

県内全域で見られる留鳥で、♂16cm、♀13cm。羽色は茶褐色で、淡い眉斑があります。例年２月初旬頃から「ホー　ホケキョケキョケキョ」とさえずりが聞こえるようになり、８月下旬くらいまで聞くことができます。

## イチョウの報告について

イチョウの黄葉はそろそろ終わりでしょうか。今年の銚子での黄葉は銚子気象台の発表では11月27日でした。団員の報告もそのあたりに集中しているようです。ただ、全部が黄色くならずに散ってしまう木もあったようです。気温の変化によるものなのか、報告がまとまった時点で専門家の意見を聞いてみようと思います。次回、結果をまとめてみます。
なお、イチョウの報告がまだお済みでない方は至急報告して下さい。

## 次号にぎわい通信は？

◎調査対象生物解説
ナガサキアゲハを中心としたアゲハチョウ7種の同定について
◎これからの季節報告
・アズマヒキガエルの卵
◎調査団からのお知らせ
調査団野外研修会の詳細情報
◎中央博物館からのお知らせ
・展示「クモ・蜘蛛・くも」-8本足の糸つむぎ職人-
・生きものに関する行事の紹介
etc. お楽しみに